

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2018.12

vol.

57

巻頭インタビュー

## 人類は富士山と どう向き合っていくべきか？

ふじさんネットワーク 増澤武弘会長

ふじさんネットワーク  
平成 30 年度総会・講演会を開催

[富士山をまるごとキレイに]

富士山ごみ減量大作戦！

「ふじさんネットワーク」  
会員募集中！

コラム

[富士山憲章の実行部隊]  
エコレンジャーの報告と募集

[富士山の外来植物図鑑]  
ALIEN PLANTS

富士山が分かる！おすすめブック

美しい富士山を、未来の子どもたちに

# ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2018.12

vol.

57

## CONTENTS

- 03 [巻頭インタビュー]  
人類は富士山と  
どう向き合っていくべきか?  
ふじさんネットワーク 増澤武弘会長
- 06 ふじさんネットワーク  
平成 30 年度総会・講演会を開催  
[富士山をまるごとキレイに]  
富士山ごみ減量大作戦!
- 07 [コラム]  
富士山憲章の実行部隊  
エコレンジャーの報告と募集  
ALIEN PLANTS  
富士山が分かる! おすすめブック
- 08 「ふじさんネットワーク」  
会員募集中!

### 表紙の写真



### 「駿河湾富嶽三十六景 —第七章— 清藤海岸」

写真提供：静岡県観光協会

静岡県伊豆市小下田にある清藤海岸は、海拔0mから障害物のない富士山を眺めることができるビュースポットです。観光名所として知られる土肥金山と恋人岬のほぼ中間地点に位置し、付近には小さな漁港があります。冠雪した冬の富士山は、日の出の刻前後に朝焼けで赤く染まり、優美で艶やかな姿を見せます。日が昇るとともに刻一刻と変化する色合いにも心を奪われます。

## 富士山憲章 (行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

# 人類は富士山と

## どう向き合っていていくべきか？

世界文化遺産に登録された富士山は、地球レベルの宝です。その富士山と人類はどう向き合っていくべきなのか？平成10年に制定された「富士山憲章」を行動規範に掲げる「ふじさんネットワーク」の増澤武弘会長に話を聞きました。



富士山の6合目、宝永第二火口付近に立つ増澤武弘会長。  
この日は好天に恵まれ山頂まで視界が抜けていました。

ふじさんネットワーク 増澤武弘会長

### 美しい富士山を未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク・増澤武弘会長のインタビューは、特定非営利活動法人「静岡自然環境研究会」の調査に同行する形で行われました。増澤会長は同会の理事長でもありません。

富士登山の玄関口として知られる富士宮口五合目駐車場に集合したのは増澤会長と静岡大学の学生、共同で調査を行う新潟大学の崎尾教授、大学院生、学生諸君の総勢12名。富士山自然休養林歩道を約40分歩いて、宝永第二火口へ向かいました。

途中にある溶岩流や割れ目火山の生々しい痕跡は、富士山が今も活動を続けていることを告げているようでした。

宝永第二火口に到着すると、眼前に1707(宝永4)年の大噴火によって形成された巨大な火口が広がります。人を拒絶するような荒々しい自然に圧倒されていると、増澤会長が語り始めました。「火口の中に

ポツポツと斑点のようなものが見えますね。あれはパッチと呼ばれるもので、あの中にある種が発芽し、やがて森林になります。宝永山の噴火から約300年が経ちますが、この一帯は火山の森林形成を知る上で、非常に貴重な新しい資料なのです。今日これから私たちが行う調査はその一環で、森林限界線に生えているカラマツ、トウヒ、シラビソなどの樹高や胴回りを測ります」。

調査は40年前に設定された10m×10mのコドラートと呼ばれる区画で行われ、その範囲に生えている木の構成種、樹高、胸高直径(円周)を寸ばさで調べます。この日は宝永山の第二火口の西側に設定した15区画が対象。調査は3人ずつの4班に分かれ、過去のデータと照合しながら、森林限界付近の植生変動を見ていきます。「この毎木調査は10年ごとに行ってきましたが、10年という短い期間で富士山を知ることができません



富士山自然休養林歩道から見た景観。6合目付近までは森林と溶岩が混在した風景が広がっています。



標高2,693mの宝永山。3つの火口があり、山頂側から第一火口、第二火口、第三火口と呼ばれます。火口の内側に見える斑点が植物のPATCHです。



今回の毎木調査は宝永第二火口の西側で行われました。森林限界付近に生えているカラマツ、トウヒ、シラビソ、コメツガ、ダケカンバ、ナナカマド、ミヤマハンノキを観察することで植生の変動を調査しました。

## 変わったこと、 変わらないこと

ん。おそらく100年から1000年単位の年月を要します。ですから、私たちの責務は富士山をそのまま後世へ残すこと。登山客のごみ問題や外来性植物による植生変化など、富士山を取り巻く環境には様々な課題がありますが、最も大切なことは富士山の自然を末永く継承することです。ふじさんネットワークはそのために組織されました」と増澤会長は語ります。

富士山憲章は、日本の象徴である富士山を後世に引き継いでいくために、静岡・山梨両県によって平成10年に制定されました。これを周知、定着させていく仕組みとして生まれたのが「ふじさんネットワーク」です。会員は自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政などで構成され、各会員はそれぞれの得意分野を生かして自主活動を行いながら、会員相互の交流・対話を通じてネットワー

ク内で連携を図っています。「清掃活動をする団体、自然林の復元を目指す企業、観光客対策を打ち出すグループ、環境キャンペーンを実施するテレビ局など、各団体の活動は多岐に渡りますが、目的は同じです。会員数は約500強の団体・個人（2018年現在）で、各々が富士山憲章を行動規範としています。他県のグループも多少いますが、大多数は静岡県に拠点を置く団体や企業です」。

コドラートの足元は細かな砂利で滑りやすく、傾斜も急峻であるため、作業は容易ではありません。調査班はそれぞれにメジャーやノギスを携行し、10年前に木にくくりつけた標章をチェックしながら、すべての樹木を調査していきます。「この調査をしていると10年がとても短い時間であることが分かります。人にとっては長くても、自然界ではあつという間なのです。現在、地球レベルの気候変動などと騒がれています。それが人間の尺度で測った推測で、早計に判断することはできません

ん。ですから、今の私たちがすべきことは正確なデータを集積しながら、富士山を“あるがまま”に後世へ引き継ぐこと。それが将来、正しい判断をする礎になります」。

年間に20回ほど富士山で調整するという増澤会長。「最近の富士山は変わったのか、とよく質問されますが、自然レベルで見たら、この数十年で変わったことはほぼありません。ただ、世界遺産で湧いたブームも落ち着き、一時は年間30万人と言われた登山客は約20万人になりました。清掃活動や自然保護の啓発も進んで、ごみも随分減りましたね。トイレの尿処理も同様で、これは良い傾向です。ただ、私たちの目的は富士山を後世へ引き継ぐことですから、それを見据えた上で、持続的な活動を続けることが重要です」。

何よりも自然に感謝し、あるがままの自然を後世へ残すこと。増澤会長の願いは“私たちが富士山とどう向き合うべきか”を問いかけるものでした。



**増澤 武弘氏** ますざわ たけひろ

**プロフィール**

1945（昭和20）年生まれ。静岡大学客員教授。富士山の植生研究の第一人者。特定非営利活動法人「静岡自然環境研究会」理事長。平成27年、「ふじさんネットワーク」の会長に就任。南アルプスユネスコエコパーク登録時には検討委員会の委員長を務める。著作物は『世界遺産の自然の恵み』（日本生態学会刊）、『高山植物学』（共立出版社刊）、『富士山 自然環境と植生』（静岡県）、『富士山頂の自然』（静岡県）など。



10年前の毎木調査時に付けられた標章。これを元に過去のデータを読み出し、現在の状態と照合していきます。



コドラートに集まった調査班。黄色いパーカーを着ているのは新潟大学農学部崎尾均教授です。一般登山客のコドラートへの進入は禁止されています。

FUJISAN NETWORK

News

ふじさんネットワーク  
平成30年度総会・講演会を開催

平成30年度のふじさんネットワーク総会が6月9日(土)に沼津市立図書館で開催されました。当日の出席者は委任状も含めて158団体。正会員の過半数を超えたため総会は有効に成立しました。議長には増澤武弘会長が選出され、議案では平成29年度の事業報告、収支決算等のすべてが承認されました。その後、富士山エコレンジャー・エコサポーターの登録式が行われ、新しい会員に登録証を交付。講演会では、富士山

憲章20周年と富士山世界文化遺産5周年を記念して、増澤会長が「未来の富士山を守るための世界複合遺産」という演題で来場者に語りかけました。その中で増澤会長は「富士山の25の構成資産を守っていくためには、複合遺産の考え方が必要不可欠で、自然を守ることが文化を守ることであり、自然環境が文化を形成する」と訴え、ふじさんネットワークの活動にさらなる期待を寄せていました。



ふじさんネットワーク総会で新たに登録された富士山エコレンジャーとエコサポーター。今年度はエコレンジャー5人、エコサポーター6名がメンバーに加わりました。



総会の後に行われた講演会。増澤会長が講師として「未来の富士山を守るための世界複合遺産」をテーマに語りました。

FUJISAN NETWORK

Report

富士山をまるごとキレイに  
富士山ごみ減量大作戦!



6月23日に行われた「富士山ごみ減量大作戦」。富士山こどもの国に集合した約60人のボランティアが周辺の道路や森林に捨てられたごみを熱心に拾いました。

今年も6月と10月に「富士山ごみ減量大作戦」が行われました。主催は静岡県、富士市(10月は裾野市)、静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会、ふじさんネットワークで、公募されたボランティア約60人が国道469号線沿いや森林内に不法投棄されたごみを丁寧に拾いました。近年、富士山の山麓周辺道路沿いでは、ポイ捨てされたごみが富士山の美観とイメージを損ねていますが、平成18年から始まった「富士山



大きなごみはもちろん、小さなごみも見逃しません。



ごみ減量大作戦の様子は道行くドライバーや観光客へのアピールにもなります。

ごみ減量大作戦」によって状況は変わりつつあります。これまでの活動回数は25回を数え、参加者は延べ1667人、累計ごみ回収量は11990kgにおよびます。この取り組みは富士山周辺のごみを減らすことが第一の目的ですが、参加ボランティアの環境保全意識を高揚する効果も期待できるため、ふじさんネットワークでは今後も継続的に作戦を実施していく予定です。次回は、2月に富士宮市で開催します。



登山道・須走口五合目で登山客に外来種防除マットの説明をする富士山エコレンジャー。外来性植物による植生変化への理解を高めています。



富士山エコレンジャーの面々。レンジャーの表情には富士山を守る決意と使命感、そして誇りがにじんでいます。

FUJISAN NETWORK

Column

富士山憲章の実行部隊

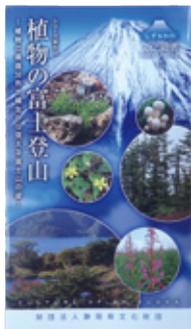
エコレンジャーの報告と募集

富士山憲章の周知・定着、そして豊かな自然環境の保全・継承を実現するため、富士山エコレンジャーと富士山エコサポーターが実行部隊として活躍しています。活動は来訪者へのマナー啓発、来訪者への自然解説・情報提供、動植物の保護とその情報収集などで、エコサポーターはエコレンジャーの活動を補助しています。発足したのは平成14年で、現在の会員数はエコレンジャー15人、サポーター10人です。

平成29年度は延べ81日の活動を行い、トレイルラン植生保全調査や植生保全パトロールなどの実績を残しました。ふじさんネットワークでは今後もエコレンジャーとサポーターの登録と募集を進めていきます。登録要件としては、満年齢が19歳〜70歳であること、10単位以上の講習を受けること、レポート提出などがありますが、詳しくはふじさんネットワーク事務局までお問い合わせください。

植物の富士登山

～植物の垂直分布や植生から見える富士山の姿～



編集者：八木洋行  
 執筆者：岡秀一、下田路子、河村正幸、菅原久夫、鈴木啓造、鈴木大治、カーコスキー朱美、鈴木一記  
 発行：財団法人静岡県文化財団  
 定価：本体476円（税別）

植物の視点から富士山の自然環境が分かる一冊

富士山に生息する植物の姿を“垂直分布”（高度による植物の生態分布）という切り口で紹介しています。富士山の植物は厳しい環境や複雑な条件に適応しながら、噴火にも負けずに分布を広げてきました。登山前に一読すれば、より一層、富士山を楽しめます。

事務局から一言

第4章では、ふじさんネットワークの会員である、富士山自然誌研究会の菅原会長が植生の垂直分布について、豊富な写真とともに記しています。世界文化遺産となり、だれでも気軽に登ることができるようになった今、自然との付き合い方について考えさせられる一冊です。

富士山が分かる！

おすすめブック



ふじさんネットワーク事務局が推薦する富士山に関する本を紹介いたします。

富士山の外来植物図鑑

ALIEN PLANTS

オオキンケイギク

Coreopsis lanceolata  
キク科 / 多年草



花はとても愛らしく、元々はその美しさから河川敷の緑化用のワイルドフラワーとして導入されました。このオオキンケイギクが生えている場所では、他の在来植物が育つことができない環境になっています。

見分け方の特徴

- ◎ 花びらの先が4〜5つに分かれる
- ◎ 葉は細長いスプーン状。冬はロゼット状になる



葉の幅は1cm程度。両面にうっすら毛が生えています

原産	北アメリカ
背丈	30〜70cm
繁殖期	5〜7月
富士山侵入地点	富士一合目まで
侵略経路	1980年代に観賞用や河川敷の緑化などに用いられ、広がった
除去方法	開花初期の5月頃が狙い目。根から抜き取り、枯死させたのち、燃えるゴミで処分可。

Welcome



Join Us

# 「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。



## 入会費・年会費なし 無料

特典

- 「ふじのくにネットワーク」の冊子が届きます
- 登録するとメールマガジンが届きます
- シンボルマークが使えます

Check!

「ふじさんネットワーク」の取り組みなどは  
ホームページから見るができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>



1000円からの寄付で  
**ピンバッジ**がもらえます!

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、富士山ピンバッジを配布します。

## 富士山の雲シリーズ THE CLOUD SERIES

■1セット4個組(大きさ:各直径32ミリメートル) ■1口:1,000円以上

直接受取希望: ふじさんネットワーク事務局まで、連絡をした上でお願いします。募金と同時にピンバッジをお渡します。

送付希望: 郵便、電話、FAX又はメールで[1]-[4]の事項をお知らせください。  
[1]-名前 [2]-住所 [3]-電話番号 [4]-希望するピンバッジの種類・個数  
振込用紙を送付します。振込の確認ができしだい、ピンバッジを送付します。  
(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2018年12月 vol.57

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市追手町9番6号

電話:054-221-2963 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fuji@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘  
(特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 536団体・個人 (H30.10.31現在)

※本書の作成には、マックスパリュウ東海株式会社、及びハーゲンダッツジャパン株式会社からの寄附金が使われています。